第 227 回浜田市教育委員会定例会議事録

日 時：令和 6 年 5 月 28 日（火） 14：30～15：16

場 所：浜田市役所本庁 4 階講堂 AB

出席者：岡田教育長 杉野本委員 岡山委員 倉本委員 浅津委員

事務局 草刈部長 藤井課長 龍河担当課長 山口課長 永田担当課長

鳥居室長 松井課長 山本課長

書記：日ノ原係長 皆田主任主事

議事

1 教育長報告

2 議題

- (1) 浜田市スポーツ推進審議会条例及び浜田市資料館運営協議会条例の一部を改正する条例について（資料 1）
- (2) 浜田市社会教育委員の選任について（資料 2）
- (3) 教育長の職務に専念する義務の免除の承認について（資料 3）

3 部長・課長等報告事項

4 その他

- (1) その他

1 教育長報告

岡田教育長

それでは早速だが、教育長報告に移らせていただく。資料の方をご覧いただきたい。補足が必要なところを中心に説明させていただきます。

① 5 月 7 日（火）総合教育会議（庁議室）

5 月 7 日、教育委員方には総合教育会議にご出席いただき、大変ありがとうございました。

浜田市が抱えている様々な教育課題について、市長とも情報共有が出来たのではないかと思う。その話の中で、2 学期に教職員の働き方改革の一環として導入した、校務支援システムの運用状況を見ながら少し話をということになった。今、教職員方が随分奮闘しておられ、やはり慣れないシステム操作というのはかなり負担が大きいようで、そうした声が教育委員会にも届いている。ただ、私も管理職面接の際などには、最初の年度というのはもちろん負担は大きいと思うが、必ず事務の効率化

に繋がるため、今はしんどいかもしれないがしっかり使用してもらいたいという話をし、現場でのチャレンジを促しているところである。特に出席簿のことや保健のシステムもあり、通知表もこれでやろうではないかという話になっている。そこへの新しい取組に対する負担というのが少し現場ではある様だが、何とか乗り越えていけたらと思っている。

② 5月9日（木）全国都市教育長協議会定期総会・研究大会（長崎市）

5月9日に、全国都市教育長協議会の定期総会と研究大会が今年長崎であり、ここで文部科学省の方の政策説明や、あるいは各地の教育委員会の教育長からの研究成果の発表等の情報交換を行ったところである。

参考になったこともあるため、今後の浜田市の教育行政に生かしていきたいと思っている。中でも大分県の別府市が、形骸化しないコミュニティスクールの取組ということで、各中学校区に統括コーディネーターを配置していろいろな取組をされたことなども大いに参考になった。

③ 5月14日（火）島根県知事・教育長国県要望活動（島根県庁）

5月14日に、島根県知事・教育長への県要望活動に出かけてきた。この要望内容が2点あったが、1点は浜田高校の寮が建築後50年近く経過をして老朽化しているため、その建替えの際に、市内の県立高校3校の合同の寮としての整備を要望したものである。浜田高校の寮がちょうど昨年から今年にかけ、外壁の工事や内部の改修工事等を行うということで、長寿命化を目指されている。従って、すぐに対応するというのは難しいという感触ではあった。一方で、市が共同寄宿舎を整備したことと合わせ、今、浜田高校の女子寮を県立の市内3校で共同で使えないかというお願いもさせていただき、これについては3校で具体的な協議が始まっている。

また、もう1つの要望としては、ICT環境の整備について、タブレットだけでなく、学校現場ではネットワーク機器にも結構経費がかかるという状況であり、この補助についても国に働きかけてもらいたいという要望もさせていただいた。その予定で考えているというお答えをいただいている。

④ 5月24日（金）石見神楽伝承内容検討専門委員会（図書館）

5月24日には、石見神楽伝承内容検討専門委員会が、立ち上

各委員

がり、1 回目の意見交換があった。詳細は後ほど担当課長から報告をさせていただく。やはり神楽文化の傳承に必要な手だてというものはしっかり検討していく必要があると思っている。

以上、このひと月の主な私の活動報告だが、何かご質問等あればお願いします。

特になし。

2 議題

- (1) 浜田市スポーツ推進審議会条例及び浜田市資料館運営協議会条例の一部を改正する条例について（資料 1）

日ノ原係長

資料 1 をご覧いただきたい。こちらについては、2 つの条例があり、浜田市スポーツ推進審議会条例と浜田市資料館運営協議会条例である。

3 の目的・理由としては、令和 6 年度の機構改革において、教育委員会で文化スポーツ課が再編され、スポーツ振興課と文化振興課となっている。それに伴う所要の改正を行うもので、いずれも庶務担当課の変更である。

それでは、裏面の 2 ページの新旧対照表をご覧いただきたい。浜田市スポーツ推進審議会条例については、第 7 条のところ審議会の庶務は文化スポーツ課というところを、スポーツ振興課への改正、浜田市資料館運営協議会条例については、第 7 条協議会の庶務担当課について、文化スポーツ課を文化振興課に変更するものである。こちらは公布の日から施行するというかたちで提案をさせていただいている。本日ご承認いただいた後、6 月議会の条例でまた審査いただくという流れになる。

説明は以上である。

岡田教育長

ただいま説明があった様に、教育委員会内の機構改革に伴い、庶務課についての改正を行うものである。

この点、ご質問はあるか。

ないようであれば、ご承認いただけるか。

各委員

全会一致で承認

岡田教育長

ありがとうございます。

承認されたため、6 月議会へ提案をお願いします。

- (2) 浜田市社会教育委員の選任について（資料 2）

永田担当課長

資料の 2 をご覧いただき、浜田市社会教育委員の選任について

である。社会教育法第 15 条の規定により、次のとおり社会教育委員の委嘱を求めるものである。任期については、令和 6 年の 4 月 1 日から 2 年間、令和 8 年 3 月 31 日までとなっている。

裏面をご覧ください。こちらに、令和 6 年度・令和 7 年度の浜田市社会教育委員名簿を掲載させていただいている。人数については 13 名となっており、今回新規で社会教育委員をお願いする方が 1 番の久佐さん、2 番の岡本さん、それから 6 番の柳川さん、それから 9 番の花田さん、この 4 人の方に新たに社会教育委員としてお願いをしているところである。それ以外の方については、前年度から引き続き継続して社会教育委員として委嘱をお願いするものである。

真ん中より下に基準とあるが、学校教育及び社会教育の関係者、それから家庭教育の向上に資する活動を行う者、それから学識経験のある者という 3 つの基準により、これまでも選任をしているところである。

説明については、以上である。

岡田教育長
永田担当課長
岡田教育長

これは社会教育委員の委嘱について、同意を得るということか。そうである。

ただいま説明があった委員のとおり、委嘱したいということだが、質問等があるか。

各委員
岡田教育長
各委員

特になし。

特にないようであれば、この案のとおり承認いただけるか。

全会一致で承認

(3) 教育長の職務に専念する義務の免除の承認について (資料 3)

日ノ原係長

こちらについては、資料にも記載しているとおおり、浜田市長の権限に属する事務の委任を教育委員会に委任している。今回、教育長が人間ドックを受けられるに当たり、職務免除というところは教育委員会の承認をもってということになるため、提案をさせていただく。日時が令和 6 年 6 月 3 日月曜日である。

岡田教育長

私のドックに行くための職務免除の承認ということだが、よろしいか。

各委員

全会一致で承認

岡田教育長

ありがとうございます。

3 部長・課長等報告事項

藤井課長

行事等予定表（資料4）

資料4をご覧ください、行事等予定表である。5月28日から6月30日までの予定となっている。今回は教育委員方に個別にご案内をしているイベント等はないが、ご都合がつくところがあれば見に行ってくださいと思う。

次回の第228回教育委員会定例会は、6月28日金曜日14時半から、場所はこちらの本庁講堂ABで予定している。

よろしく願います。

令和5年度浜田市立図書館の利用状況について（資料5）

資料5をご覧ください、令和5年度の浜田市立図書館の利用状況についてご報告をさせていただく。毎年度取りまとめをしてお知らせをしているが、コロナの影響が出始めた令和元年度から、その前の年の平成30年度の方がピークの数字であったが、コロナの影響が始まった令和元年度、2年度、3年度、4年度と来館者数、利用者数、個人貸出ともに平成30年度まで戻ることなく、令和5年度も戻ることなく推移をしている。

この度は、令和4年度から令和5年度のところで、来館者数、利用者数の増加はしたが、個人、団体とも、図書の貸出点数が減少している。その一方で、予約・リクエスト受付件数は毎年度増え続けていて、それに伴い貸出点数が減るということは、図書館で皆様のニーズの図書の入荷やその選定のところで、その辺りを分析する必要があるのではないかと考えている。

令和5年度末のところで、まず雑誌の見直しも図っており、貸出が少ない雑誌をやめ、リクエストの多い雑誌の方をとるといようなことをしている。なるべく来館者の皆様のニーズを把握して応えられる様に努め、貸出件数の増にも努めていきたいと考えている。

特記事項として、浜田市立図書館は、県内の他館にはない電子書籍の利用をやっている。こちらの方は順調に伸びており、コンテンツ数も増え、貸出件数の方も令和3年度の209から令和4年度、令和5年度と大きく伸びているところである。

報告は以上である。

ただいまの2つの報告事項に対し、何か質問等あるか。

貸付状況等に関係ないが、中央図書館に入った時の、ひよつとしたら市の公的なWi-Fiとの兼ね合いがあるかもしれない

岡田教育長
岡山委員

草刈部長
藤井課長
岡山委員
岡田教育長
各委員

が、電波の拾い方がすごく弱くて、子どもたちも利用するが、調べ物をしながら何かやりたい時に閲覧ができない状態になるので、Wi-Fiはどうなっているのかというところがある。ひょっとしたら私が持っているキャリアの問題なのかもしれないが、別のキャリアだったら問題ないのかとも思う。一応、情報を拾うという施設なので、そのあたりのところで、実際来館していただいて皆さんで比べ合いながら、ここは繋がる、繋がらないということを一回見ていただけたらと思う。

制限がかかっているのかもしれない。

調べてみる。

何かの兼ね合いで何かなっているのかもしれない。

他に質問はあるか。

特になし。

龍河担当課長

令和6年度幼児教育・保育施設の変更点と未就学児童の状況について（資料6）

資料6をご覧いただきたい。令和6年度幼児教育・保育施設の変更点と未就学児童の状況について報告させていただく。

1つ目の施設の変更点としては、これまで保育所型認定こども園であったながさわこども園が、幼保連携型認定こども園へ移行した。

2番目の未就学児童及び施設入所（園）児童の状況については、年々児童数は減少しているが、施設入所している割合はここ数年、約85%と横ばいの状況である。施設別入所（園）状況を割合で見ると、保育所の入所児童が増加傾向で、認定こども園幼児園部や幼稚園の入所児童が減少傾向となっている。

裏面をご覧いただきたい。2の施設の入所状況のうち、公立幼稚園は浜田幼稚園を指すが、今年度は3歳児6名、4歳児6名、5歳児10名の計22名でスタートした。また、表の一番下の欄にある施設未利用者となっている4・5歳児については、4月1日以降に転出をされた児童も含まれており、各家庭の状況の把握はできている。

説明は以上である。

ただいまの説明の内容について、質問等あるか。

特になし。

岡田教育長
各委員

山口課長

令和6年度 学校別児童生徒数一覧表（資料7）

資料7をご覧いただきたい。令和6年5月1日の学校別児童生徒数一覧表である。これをもって教員の配置数が確定する。今回は若干、中学校、小学校、それぞれ転入転出あったがクラス数については影響なく、最終的に5月1日で3,498人の在籍となる。以上である。

岡田教育長

ただいま説明のあった内容について、質問等あるか。

今、子どもたちの数が本当に減っているが、今年の小学校の新1年生が約350人ということで、極端に減っているということはこの年まではない。ただ、ここから先5歳以下が大きく減っていて、300人あるいは250人ぐらいまで減っている。これから先5年ぐらいを考えると、大きく減るということは心配ではある。今年度に関していうと、減ってはいるが、昨年までとそんなに大きな変化ではないと思っている。この先少し懸念がある。

鳥居室長

第2回（5月）市校長会資料（資料8）

資料8をご覧いただきたい。5月の校長会で校長先生方に伝えた内容である。

1番の全国・学力学習状況調査についてということで、四角で囲っている、限られた時間で、というところだが、これが浜田市の子どもたちの学力調査から明らかになっている課題である。今年度の問題も、この傾向がますます強くなっているということを実感したところである。

昨年度、知事が発言した算数の問題があったが、あの問題もいわゆるこのことに関する問題であり、言葉と式を使って筋道を立てて論理的に説明をしていくという様な問題である。今年度の調査を見ても、昨年度の椅子の問題と同じ様な傾向の問題が出ていた。赤枠をしているが、この問題文を順々に読んで解いていきながら、最終的な答えに対する言葉と式で解き方を表現していくのだが、その見通しが持てるという様な構成になってはいた。したがって、読解力もかなり必要になってくる問題構成になっている。

昨年度の4月に、すべての6年生を対象に調査をした椅子の問題の結果を示している。2ページを開いていただき、市全体の解答状況だが、一番上の表は文字が小さくて申し訳ないが、

1番からずっと番号が振ってあり、これは解答種類の順番で、1番と7番に色がつけてあるが、これが正答した児童になる。言葉も答えも合っていた。1番3番5番等の奇数番号については、答えが合っていたということになる。表の下のところは文字で三角や丸をつけているが、平均正答率を令和5年度の浜田市の状況と比べると、2.8ポイントマイナスであった。丸がついているところは、答えを84と回答、令和5年度の浜田市との比較をすると、プラス4.7ポイントであった。これが結果である。昨年度の結果とは単純に比較ができないと思っている。

その理由を、①番から③番まで上げている。①番は、先ほど児童が見通しが持てる様な問題構成になっていたと話したが、昨年度は大問の(1)から(2)を行い、(3)があった。今回は、いきなり(3)の問題を解かせているので、去年の児童に比べて、見通しが持ちにくかったらと思う。それが1つの課題がある。文部科学省は、採点の許容範囲ということを経験者に伝えている。これは県教育委員会が確認しているが、どの程度までなら丸にする、許容する、正答にするというものを共通理解して行った様だが、今回は県からその様なことが全く示されていない。したがって、学校あるいは採点者により採点基準にばらつきがある。実際にある学校ではかなり厳しく採点をしたようである。そのことも教頭先生を通じて情報提供があった。そういった状況があった。③番目、実施時間については、各教育委員会あるいは学校で判断するとし、浜田市は5分であった。市町によりこれに差が出ているのだからということ、単純比較ができないと思うが、調査結果から次のことが言えるということ、四角囲いにして太字にしている。昨年度と比較して、答えを求めることができるようになってきている。しかし、その根拠を説明することについては、依然課題があると言えるだろうということである。初等教育資料の4月号を資料A-2として今回もつけさせていただいたが、教科調査官が、全国学力・学習状況調査の設問を例にしながら説明をすること、つまり知識技能だけでなく、深い理解を促したり、思考力、判断力、表現力を育成したりするために授業改善が必要だということを述べている。

3ページ目に行くが、この教科調査官の見解というのは、昨年度、算数問題について我々が示した捉えと同様で、繰り返し

説明をしていく、そういった活動が不十分であったということの裏付けになるのではないかと考えている。したがって、低学年段階から繰り返し説明する、そういった学習を積み重ねていく必要がある。3 ページをめくっていただくと、学力向上推進室だよりということで椅子の問題を例にすべての学校へ配布しているが、下段の四角囲いにこの問題を繰り返し説明させることで考えられるとすれば、今、椅子が 48 脚の問題になっているが椅子 60 脚にしたらどうか。あるいは椅子 3 脚、あるいは 5 脚で 7 kg だったらどうか、というように数字を変えていく。それから、椅子を収納する棚は 100 kg に耐えられるが、この棚に椅子を 70 脚収納しても大丈夫か、などこの問題を少しずつ変えながら繰り返し説明する、といった学習を組んでいくことが必要だろうなということも示している。

2 番、浜田市図書館を使った調べる学習コンクールについてだが、今年度の取組を始めるが、その取組の動機づけとして育成される資質・能力を上げているため、取り組む際に子どもたちにこういう力がつくということをしっかり伝えて欲しいと伝えている。

3 番目は、指定校授業公開日予定についてだが、教員は年 1 回は指定校の公開授業に参加してくださいということをお願いしているため、とりあえず今決まっている日程をお知らせしたところである。以上である。

岡田教育長

ただいまの学力向上推進室長からの説明について、何か質問等あればお伺いしたいと思う。

浅津委員

採点基準が異なっていたり、実施時間が違うということは、すごく大きな問題だと思うが、これは問題にはならなかったのかと思う。

鳥居室長

教育長がおそらく苦情を言われるのではないと思うが、学力育成会議の 2 回目があるため、その時に県教育委員会の説明を聞きながら、単純分析ができない様なやり方というのは課題があったのではないかという様なことを申し上げようと思っている。この椅子の問題を追跡調査して、来年も再来年もやっていくということは聞いていない。

浅津委員

承知した。

岡田教育長

今、私も学力テストの問題を見てはいるが、やはり文章の量が多く、その中から本当に何を聞かれているのか、まず問題を

読み解くことから昔とは少し違っているという気がした。その上で問題を解いていく、それはやはり授業の中等で、類似の問題をしっかりと解く時間を持たないと、なかなか定着していかないのではないかと思う。今後の学力育成会議の中でもいろいろな議論もあろうかと思っているが、しっかりと取り組まなければいけないと思っている。

他に何かあるか。

各委員

特になし。

松井課長

令和7年度全国高等学校総合体育大会浜田市実行委員会の設立について（資料9）

資料9をご覧ください、報告とお願いをさせていただきたいと思う。令和7年度全国高等学校総合体育大会浜田市実行委員会の設立についてだが、来年度の令和7年度に、中国5県で全国高等学校総合体育大会が開催されることになっており、浜田市は平成28年度に続き、男女の体操競技を開催することが決定している。そこで、この大会に向けて実行委員会を設立し、準備・運営を行っていくこととしている。設立総会及び第1回総会を続けて行うが、来週6月3日の月曜日に開催することとしている。

役員体制の案を記載しているが、会長に浜田市長、副会長に5名の皆様、委員として15名の方に参画いただこうと思っている。そして会長が委嘱する顧問に5名の方、参与に14名の方をお願いしようと思っており、教育委員方には参与としてこの実行委員会に関わっていただきたいと思っている。

資料の裏面に、参与の委嘱についてというお願いの文書がある。こういうかたちで大変失礼だが、掲載させていただいている。特に会議の参加等は考えていないが、会議の資料等を随時送らせていただくため、情報共有していただくとともに、何か課題があった時は少しご相談させていただく機会があろうかと思う。その際は、ご指導をいただくようよろしくお願いする。

資料の3番目に、体操競技日程を記載している。令和7年度の競技が、8月3日から8月5日の3日間を予定している。競技会場は島根県立体育館をメインの会場に、浜田高校の体育館をサブ会場に、練習会場に金城総合体育館を予定をしている。

大会期間中は選手、役員、関係者だけで大体900人ぐらいの

	<p>方が浜田市を訪れる予定になっており、それに向けてしっかりおもてなしの気持ちも込めて、温かくお迎えしようと思っている。事務局も準備を進めていくので、ご協力をよろしく願います。</p>
岡田教育長	<p>ただいま、来年度のインターハイの体操大会について説明があり、教育委員方には参与を引き受けていただきたいということであった。よろしくお願ひしたいと思う。</p>
倉本委員	<p>この件について、ご質問等あるか。</p>
松井課長	<p>資料の1枚目の3番で、サブ会場と練習会場という言葉を使い分けてあるが、どういう違いがあるのか。</p>
倉本委員	<p>サブ会場は、本番前のウォーミングアップの様なかたちになる。本当は会場に隣接する様なところが望ましいと思うが、少し距離があるが、浜田高校の体育館になる。金城の方は、本当に練習用で、大会の前日から入っていただき、そこでしっかり練習をして準備を整えていただく、そういった扱いになる。</p>
岡田教育長	<p>承知した。</p>
松井課長	<p>金城の体育館は、エアコンがない。</p>
岡田教育長	<p>エアコンはもう必須らしいので、レンタルになると思うがスポットクーラーの様なものを設置し、熱中症対策は十分にやっていたい。</p>
松井課長	<p>浜田高校の体育館にもエアコンがない。</p>
岡田教育長	<p>今、熱中症対策というのが必須と言われているため、少しコストがかかるかもしれないが、しっかりとやっていく必要があると思う。</p>
倉本委員	<p>前回の大会でもそうだったか。</p>
日ノ原係長	<p>前回は、ついていないと思う。</p>
岡田教育長	<p>島根県立体育館しかなかったと思う。</p>
日ノ原係長	<p>スポットクーラーも入れていなかったか。</p>
倉本委員	<p>入れていなかったと思う。そういうレンタルという話もなかった。</p>
松井課長	<p>サブ会場にしても練習会場にしても、体操の選手が会場を使用すると、炭酸マグネシウムがすごい量で、床が何週間ぐらいいも叩くとほこりが出てくる。そういうのは清掃してもらう予定はあるか。</p>
松井課長	<p>やはり、他の事例を見ると、最後に清掃の業者がしっかり入り、そういった清掃をしてもらったということも聞いている。</p>

倉本委員

それを未然に防ぐために、シートを引いたり、終わった後に清掃業者を入れる等、やり方はいろいろあると思うが、その対策というのはしっかり考えている。

よろしく願います。

山本課長

令和6年度浜田市スクールコンサート『ハイブリッドウィンドオーケストラメンバーによるスペシャルスクールコンサート♪管楽器の魅力♪』の開催について（資料10）

資料10をご覧いただきたい。令和6年度浜田市スクールコンサート『ハイブリッドウィンドオーケストラメンバーによるスペシャルスクールコンサート♪管楽器の魅力♪』の開催について、報告する。

この事業は、小中学生に優れた芸術鑑賞の機会を提供することによって、豊かな人間形成に寄与することを目的とした事業である。本公演は、令和6年度から3年かけて、市内の全小中学校を訪問し公演するものであり、今年度が初年度となる。

今年度は、6月3日の第三中学校をはじめ、6月18日までの金城中学校含め、全8校を回る予定としている。

この事業の主催は浜田市教育研究会音楽部会であり、演奏は一般社団法人石見音楽文化振興会に委託をするものである。そこに所属のハイブリッドウィンドオーケストラメンバーの方による演奏を、市内小中学生に聴いていただく。

裏面に演奏されるメンバーの名前と担当する楽器を掲載している。内容については、管楽器の魅力を紹介するプログラムとなっている。

資料10については、以上である。

石見神楽の保存・伝承に向けた検討について（資料11）

続けて、資料11をご覧いただきたい。石見神楽の保存伝承に向けた検討についての報告である。この資料については、前回の定例会でも説明させていただいた資料と同じものであるが、前回の段階ではまだ専門委員会のメンバーがすべて決定していない状況であったり、あとは裏面の日程等もまだ予定で1回目以降の日にちが入っていなかったため、改めてご報告させていただきます。

また、すでに5月24日金曜日に第1回の専門検討委員会を

開催したところである。

改めて、表面の専門検討委員会のメンバーだが、学識経験者3名、神楽団体から5名、子ども神楽関係団体から1名、神楽産業関係から3名、情報発信関係から1名、教育関係は校長会から1名出席いただいております、全員で14名の委員方で石見神楽の保存・伝承に向けた、何を保存・伝承していくべきかを検討いただくこととしている。

裏面にいき、全部で6回会議を予定している。先ほど申し上げたとおり、第1回の検討委員会はすでに終了している。第1回の検討委員会では、会長・副会長の選任のあと、石見神楽の保存・伝承に向けて必要な取組に関する意見交換ということで、委員方全員からそれぞれ3分程度、それぞれの立場で考えておられる石見神楽の保存・伝承に向けて何が必要かということ、ざっくばらんに意見交換させていただいたところである。2回目以降は、第1回目の意見を踏まえ、石見神楽の保存・伝承に向けて行政と民間がそれぞれ行うべき取組や、行政が行うべき情報発信の内容や方法等について検討を行っていく予定としている。2回から4回まではその内容で検討を行い、5回、6回のところで、最終的な提言書の作成、調整を行いたいと考えている。

第1回の検討委員会の中では、やはり後継者不足の話や、今後伝承していくことが大切であるとか、あとは、イベントで神楽を舞われているが、やはりイベントでの神楽というのはかなり短縮されたものであるため、そういった儀式舞というか、短縮されていない本当の神楽の伝承も必要なのではないか、または、やはり学術的にもそういったものを展示する、また拠点となる施設の整備が必要ではないかといういろいろな意見をいただいたところである。

以上である。

ただいまの2点について、ご質問があるか。

スクールコンサートだが、子どもの反応の様子を見てみたいので、可能なら聞かせてもらったらと思うがよろしいか。

希望の日程を教えていただければ、対応可能である。

承知した。

先ほど聞きそびれたが、学力向上の方も指定校の授業について見学は可能か。

岡田教育長
杉野本委員

山本課長
杉野本委員

鳥居室長	場合によっては、学校の都合でお知らせした日程と変わる可能性もあるため、ご連絡いただければ可能である。
杉野本委員	承知した。連絡を入れる。
岡田教育長	その他、いかがか。
岡山委員	石見神楽の伝承・保存だが、あくまでも伝承・保存なのであって、観光的な側面と切り離した話になるであろうという会議で、イメージは間違っていないか。
山本課長	情報発信というところもあるため、そういった観光を主という話にはならないが、そういった話の中には、意見としては出ることはあると思うが、あくまで今回は石見神楽自体をどの様に保存・伝承していくかというところの内容の検討のため、観光が主ではない話になる。
岡山委員	承知した。そこを組み合わせると考えてしまうと結構ややこしくなるといつも思っているため、あくまでもその保存・伝承や歴史等のところを話されるのか質問してみた。
岡田教育長	その他、いかがか。
各委員	特になし。

4 その他

(1) その他

岡田教育長	事務局からその他何かあるか。
日ノ原係長	特になし。
岡田教育長	その他のところで、委員方からご報告や質問があればお願いする。
各委員	特になし。

次回定例会日程

定例会 6月28日(金) 14時30分から 浜田市役所本庁4階講堂 AB

次々回定例会日程

定例会 7月24日(水) 14時30分から 浜田市役所本庁4階講堂 AB

15:16 終了